

目指す学校像

明日の登校を  
楽しみに  
できる学校



自主・自律 敬愛 協働

# 鶴中だより

町田市立鶴川中学校 TEL 042-735-2405 FAX 042-735-2401

鶴川中学校だより

第21号

2026年3月19日発行

町田市立鶴川中学校



## 1 3月19日(木) 第79回卒業式校長式辞

桜の開花の知らせが届き始め、正門脇の桜のつぼみも膨らみ始めています。今日この良き日に三年生の皆さんは、9年間の義務教育を終え、鶴川中学校を巣立っていきます。皆さんはあまたの喜びや悲しみを乗り越えて、この三年間で大きく成長しました。215名という大人数の学年でしたが、修学旅行でも時間を守って集団行動するなど、本校の教育目標でもある自主・自律の精神で行動できる生徒たちでした。また、校内を巡回しているときに目が合うと会釈で挨拶をするなど、礼儀正しい生徒もたくさんいた学年だったと思います。毎日のように昼休みの校庭で、全力でボール遊びを楽しむ元気な姿も見られました。そして、学業にも励み、しっかりと自分の進路を切り開いたことも見事でした。皆さんなら今後もきっとそれぞれの希望に向かって努力し続け、素晴らしい未来をつかみとることができると思います。

さて、今日は皆さんに次の言葉を贈りたいと思います。「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。」 アメリカの哲学者・心理学者ウィリアム・ジェームズの言葉です。

ジェームズはこうも言っています。「人間は心構えを変えることによって、自分の人生を変えることができる。」と。皆さんはこれまでの15年間で、様々な出会いや葛藤を経験してきたことでしょう。そしてときには人を傷つけ、自分自身さえ傷つけてしまったこともあったかも知れません。それらの後悔、悲しみからの立ち直りには時間がかかるものです。もちろん傷ついた心を癒すのに時間をかけるのは、決して悪いことではありません。しかし、人格や人生を良い方向に導くのは、最終的には自分の心、心構えであることを覚えていてください。

3. 11で全国に散らばってしまった友達のことを思って言葉を紡いだ「群青」という曲があります。その中に「見える景色は違っても 遠い場所で君も同じ空きっと見上げてるはず」という歌詞があります。津波に流されてしまったたくさんの思い出。住む家さえなくなり、愛する故郷から全国に散らばった友。そして故郷に残った友。この歌には、そんな辛い過去を乗り越えて、未来に生きていこうとする強い意志を感じます。この歌に勇気づけられたのは、東北の人たちだけではないと思います。「群青」の歌詞を紡いだ15年前の中学生たちは、自らの心構えを前向きにすることで、悲しみを希望に変えました。そして、この歌は他者の人生にも影響を与え続けています。

長い人生においては、中学生時代の悩みや苦しみの方が、まだましだったと思えるような、絶望的な状況に陥ることもあるでしょう。そんなときには、ぜひ「群青」の歌詞や次の言葉を思い

出してください。「悲しいから泣くのではない。泣くから悲しいのだ。」「楽しいから笑うのではない。笑うから楽しいのだ。」同じくジェームズの言葉です。絶望的な状況から抜け出すには、まず泣くのを止めること。そして笑うこと。泣くのを止めて、笑うことで、楽しいと思える日々が増え、やがて悲しみは癒えていくはずです。

先日の「いのちの授業」に来てくれた赤ちゃんたちのことを覚えていることと思います。赤ちゃんたちの笑顔を見ていると、こちらも自然と笑顔になります。そして笑顔になるとともに、心の中が温かくなったはずです。赤ちゃんは、周りが笑いかけてくれることで、より素敵な笑顔を見せてくれます。同じように、皆さんが笑顔を見せることで、周りにも笑顔が広がっていくことでしょう。もちろん、本当に辛いとき悲しいときに笑うことは難しいでしょう。しかし、自分で笑うことは難しくても、辛い人がいたとき、その人にあなたの笑顔を見せることならできます。その笑顔は辛さに苦しむ人に、いつか笑顔をもたらすことでしょう。そして、そんなあなたの行動が、あなたが辛いときに笑顔で励ましてくれる人との出会いにつながっていきます。どうか皆さんには、笑顔を忘れない人として生きて行ってほしい。そう願って、「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。」この言葉を皆さんへのはなむけの言葉とさせていただきます。

最後になりましたが、ご臨席を賜りました保護者の皆様、本日は誠におめでとうございませう。本校教職員もこれまでの三年間、全力でお子様の教育に尽力してまいったつもりですが、行き届かぬ点もあったかと存じます。にも関わらず、常に本校の教育活動にご理解とご協力を賜りました。また、ご家庭でも、ときには厳しく、ときには温かくお子様に寄り添ってくださいました。高いところからではございますが、改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

しかし、まだ思春期真っ盛りのお子様たちのこと、保護者の皆様の支えが必要な場面も多々あるかと存じます。本日、お子様たちは本校を卒業し、9年間にわたる義務教育も終わりになりますが、お子様のよき理解者として、またよき相談相手として、今後もお支えいただければ幸いです。

卒業生の皆さん、改めてご卒業おめでとうございませう。皆さんは本日で鶴川中学校を卒業しますが、明日からはそれぞれの場所で「自主・自律」と「敬愛」の精神をもって、新たな仲間と「協働」し、たゆまぬ努力を続けていってくださうことを心から期待してございませう。以上をもちまして、第79回卒業式の式辞とさせていただきます。

2026年3月19日

町田市立鶴川中学校長 大石 眞二

## 2 3月19日(木) 第79回卒業式 卒業おめでとう!

3月19日(木)、3年生215名が卒業証書を手にして、鶴川中を巣立っていきました。次は1・2年生の皆さんが鶴川中の伝統を築いていくこととなります。ぜひ先輩たちの思いを引き継ぎ、より良い学校を作り上げていませう。卒業生の皆さんの未来が輝かしいものであることを教職員一同、心より祈ってございませう。卒業おめでとう!!